



平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 あい ホールディングス株式会社
 コード番号 3076 URL <http://www.aiholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐々木 秀吉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉田 周二

TEL 03-3249-6335

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	12,396	9.2	2,001	8.5	1,995	5.7	1,295	△1.3
28年6月期第1四半期	11,353	19.5	1,844	15.2	1,887	△25.4	1,313	△27.1

(注) 包括利益 29年6月期第1四半期 1,137百万円 (24.5%) 28年6月期第1四半期 914百万円 (△48.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	27.35	—
28年6月期第1四半期	27.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第1四半期	51,137	34,562	67.6	729.76
28年6月期	49,142	34,138	69.4	720.81

(参考) 自己資本 29年6月期第1四半期 34,543百万円 28年6月期 34,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年6月期	—				
29年6月期(予想)		18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,200	7.1	4,370	10.0	4,460	8.2	3,030	5.5	63.98
通期	54,500	11.7	9,100	11.8	9,300	11.2	6,300	9.3	133.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期1Q	56,590,410 株	28年6月期	56,590,410 株
② 期末自己株式数	29年6月期1Q	9,229,452 株	28年6月期	9,229,228 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期1Q	47,361,051 株	28年6月期1Q	47,362,077 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得情勢の改善等により穏やかな回復基調が継続しましたが、年明け以降の急激な円高や日銀のマイナス金利導入の影響もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。一方、海外において、米国経済は、中国をはじめとするアジア新興国等の景気減速や英国のEU離脱問題などの影響があるものの、堅調な個人消費に支えられて穏やかな拡大基調で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は123億9千6百万円（前年同四半期比9.2%増）となり、営業利益は20億1百万円（前年同四半期比8.5%増）、経常利益は19億9千5百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億9千5百万円（前年同四半期比1.3%減）となりましたが、前年対比で減少した理由は前第1四半期連結累計期間に発生した特別利益の影響によるものであります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、マンション向けセキュリティシステムの販売が、新規・リプレースとも、引き続き堅調に推移したこと等により、売上高は30億1千1百万円（前年同四半期比10.0%増）、セグメント利益は10億8千8百万円（前年同四半期比18.9%増）となりました。

② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他事務用機器につきましては、鉄骨業界向けの専用CADソフトの販売が引き続き好調に推移したものの、NBS Technologiesの販売の減少と販売経費の増加等により、売上高は11億8千9百万円（前年同四半期比16.5%減）、セグメント利益は1億5千3百万円（前年同四半期比31.2%減）となりました。

③ 保守サービス

保守サービスにつきましては、売上高は4億2千9百万円（前年同四半期比3.1%増）、セグメント利益は3千8百万円（前年同四半期比30.3%減）となりました。

④ 情報機器

情報機器につきましては、海外市場におけるコンシューマ向け小型カッティングマシンの販売が好調に推移したものの、急激な円高の影響により売上高は37億1千1百万円（前年同四半期比0.4%増）、セグメント利益は4億4千2百万円（前年同四半期比4.9%減）となりました。

⑤ 計測機器及び環境試験装置

計測機器及び環境試験装置につきましては、環境試験装置の受注減少により、売上高は5億2千1百万円（前年同四半期比7.1%減）となったものの、計測機器の販売が好調に推移したこと等によりセグメント利益は7千1百万円（前年同四半期比248.3%増）となりました。

⑥ 設計事業

設計事業につきましては、受注案件に工事進行基準適用が多かったこと等により、売上高は10億1千7百万円（前年同四半期比4.6%減）、セグメント利益は8千万円（前年同四半期比33.3%減）となりました。

⑦ リース及び割賦事業

リース及び割賦事業につきましては、売上高は21億5千万円（前年同四半期比69.3%増）、セグメント利益は4千8百万円（前年同四半期比98.1%増）となりました。

⑧ その他

その他につきましては、売上高は3億6千4百万円（前年同四半期比103.6%増）、セグメント利益は5千9百万円（前年同四半期比56.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して19億9千5百万円増加し、511億3千7百万円となりました。主な要因は、流動資産の現金及び預金8億6百万円増加、受取手形及び売掛金3億1千8百万円増加、リース投資資産16億7千8百万円増加、商品及び製品7億5百万円減少等であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して15億7千1百万円増加し、165億7千5百万円となりました。主な要因は、流動負債のリース債務13億5千7百万円増加、賞与引当金3億2千5百万円増加等であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して4億2千3百万円増加し、345億6千2百万円となりました。主な要因は、四半期純利益12億9千5百万円の計上、配当金7億1千万円の支払、為替換算調整勘定1億5千2百万円減少等であります。この結果、自己資本比率は67.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年8月19日付の「平成28年6月期決算短信」にて公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,372	16,179
受取手形及び売掛金	7,711	8,029
リース投資資産	2,508	4,186
商品及び製品	5,987	5,281
仕掛品	225	210
未成工事支出金	173	230
原材料及び貯蔵品	817	832
その他	2,196	1,867
貸倒引当金	△49	△49
流動資産合計	34,944	36,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,295	1,283
土地	4,312	4,312
その他(純額)	1,145	1,211
有形固定資産合計	6,753	6,808
無形固定資産		
のれん	2,752	2,645
その他	230	258
無形固定資産合計	2,982	2,903
投資その他の資産		
投資有価証券	190	293
関係会社株式	2,868	2,859
その他	1,458	1,559
貸倒引当金	△55	△55
投資その他の資産合計	4,462	4,657
固定資産合計	14,198	14,369
資産合計	49,142	51,137

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,931	5,089
リース債務	2,259	3,617
未払法人税等	758	662
賞与引当金	123	449
製品保証引当金	11	3
受注損失引当金	4	7
その他	2,502	2,420
流動負債合計	10,591	12,249
固定負債		
リース債務	1,050	1,076
退職給付に係る負債	1,231	1,245
資産除去債務	8	8
その他	2,122	1,995
固定負債合計	4,413	4,326
負債合計	15,004	16,575
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	9,049	9,047
利益剰余金	25,701	26,286
自己株式	△4,696	△4,696
株主資本合計	35,055	35,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△43	△45
為替換算調整勘定	△788	△940
退職給付に係る調整累計額	△112	△106
その他の包括利益累計額合計	△943	△1,093
非支配株主持分	26	18
純資産合計	34,138	34,562
負債純資産合計	49,142	51,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	11,353	12,396
売上原価	6,601	7,488
売上総利益	4,751	4,908
販売費及び一般管理費		
役員報酬	80	79
給料及び手当	958	954
賞与引当金繰入額	224	238
退職給付費用	41	52
その他	1,602	1,582
販売費及び一般管理費合計	2,907	2,907
営業利益	1,844	2,001
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	70	33
受取賃貸料	12	12
その他	2	5
営業外収益合計	89	52
営業外費用		
支払利息	3	0
為替差損	39	45
貸倒引当金繰入額	0	—
その他	3	11
営業外費用合計	46	57
経常利益	1,887	1,995
特別利益		
貸倒引当金戻入額	109	—
特別利益合計	109	—
特別損失		
固定資産除却損	0	—
投資有価証券評価損	3	—
特別損失合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	1,993	1,995
法人税、住民税及び事業税	743	927
法人税等調整額	△63	△219
法人税等合計	680	708
四半期純利益	1,313	1,287
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,313	1,295

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	1,313	1,287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63	8
為替換算調整勘定	△213	△121
退職給付に係る調整額	△11	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△110	△42
その他の包括利益合計	△398	△149
四半期包括利益	914	1,137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	914	1,145
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	保守 サービス	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高											
外部顧客へ の売上高	2,736	1,425	416	3,697	560	1,066	1,269	11,173	179	0	11,353
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	79	25	10	5	-	-	5	125	-	△125	-
計	2,816	1,450	427	3,703	560	1,066	1,275	11,299	179	△125	11,353
セグメント 利益	915	223	54	464	20	121	24	1,824	37	△17	1,844

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダーの製造・販売及びソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額△17百万円には、セグメント間取引消去△22百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益4百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	保守 サービス	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高											
外部顧客へ の売上高	3,011	1,189	429	3,711	521	1,017	2,150	12,031	364	0	12,396
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	79	23	7	10	—	—	2	122	11	△133	—
計	3,090	1,213	436	3,722	521	1,017	2,152	12,153	375	△133	12,396
セグメント 利益	1,088	153	38	442	71	80	48	1,923	59	18	2,001

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダー及び自動おしぼり製造機の製造・販売及びソフトウェアの開発・販売等を行っております。
2. セグメント利益の調整額18百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益13百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。